

育 G 新聞

Vol. 6
イクジイが日本を元気にする。
毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 ファザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

イクジスクール開講

【日 程】9/15(土)

『孫育てで、日本人の心を甦らせよう～孫育ては心のビタミン～』

【時 間】午前10時30分～午後12時00分

【講 師】NPO法人孫育て・ニッポン理事長 棒田明子

【入場料】無料

【場 所】千葉県市川市市民会館2F 研修室
(葛飾八幡宮境内)

【対 象】子育て、孫育て、社会貢献に
関心のある男性

【主 催】市川市健都会

【申込み】「健都会」久保木 090-9814-4690

イクジイ宣言をしよう！

孫育て、地域の子どもたちと触れ合いなど社会貢献している男性の皆さん、イクジイ宣言しませんか？ イクジイ宣言をすると、NPO法人ファザーリング・ジャパンのイクジイプロジェクト認定の「イクジイ」として登録されます。

詳細→ www.fathering.jp/ikuji/ikuji_entry

★育G登見★

No.6
元NHKエグゼクティブ
アナウンサー
村上信夫さん

イクメンという言葉が無かった時代に、父親の子育て、男たちの地域、社会活動に着目。1994年、横浜市青葉区で「おやじの腕まくり」という社会活動グループを結成。現在、3児の孫を持つ村上信夫さん。孫、そして未来を担う子どもたちに何を伝えたいのか。

父親は右往左往しながら子どもを育て、ときにはオロオロしたり、べったりしたり。でもジイは人生の経験者として、少し離れたところ、俯瞰から子どもを見ることがあります。孫と話をするときには「そうだよね」「それはわかるよ」……と肯定的な相づちを打てたらいいと思っています。これは仕事で学んだことですが、孫との会話にも役立ちますね。親はどうしても否定的な相づちが多いので(笑)。それとすぐ口を挟まないで、じっと聞く。言葉と言葉の隙間を作るよう意識して、親には言えないこともジイジには言える、そんな心のより所的な存在になれたらいいと思います。

僕の考えるジイジは、8割ぐうたら、2割まじめな感じ。やさしいだけのジイジではなく、精神論や生き方やしつけなど、言うべきことは言う、ときには煙たがられる存在でもありたい。

私の父は墓参りへ行くと、必ずご先祖さまの説明をしてくれました。小学生当時の私はお墓が怖くて墓参りが苦手でしたが、聞いているうちにご先祖さまが身近な存在になってきました。父は、先祖代々つながってきた命があってこそ、今ここに自分たちがあることを伝えたかったんでしょうね。僕も、孫たちに村上家のつながり、命の重みに

ついて伝えたい。それが命のバトンを渡すことでしょう。先に生まれた大人の役目です。

僕はアナウンサーという仕事を通して、言葉の持つ力を強く感じてきました。退職後、「言葉の種まきおじさん」として、全国を回りながら、子どもたちに、使うと嬉しくなる言葉を伝える活動をしています。「おはよう」と鏡の中の自分に笑顔で挨拶をする、「ありがとう」と言うと心がニコニコする。自分が使う言葉を変えることで、相手が変わる。もしも、うれしくない言葉を孫たちが使ったときには、僕がオヤジにされたように、孫を正座させて、お説教するのもいいかもしれませんね(笑)。



単身赴任11年で培った料理はお手のもの

育Gの極意



金魚すくいでポイントアップ！

夏の日本の風景には、夏祭りが欠かせない。大きなお祭りもいいが、孫とのお出かけなら、歩いて行かれる地元の夏祭りがおすすめ。浴衣姿に身を包んだ孫の姿はかわいさ倍増。夏祭りといえば、子どもたちに一番人気なのが金魚すくい。金魚がすぐえるかどうか、ジイジの名誉がかかっているので、そのコツを伝授しよう。



1. ぽい（金魚を救う道具）をもらったら、枠の上に紙が貼ってあるほうを上にし、全面をそっと水につける。
2. 金魚は追いかけず、小さめの表面近くを漂う金魚を狙う。
3. 狙いが定まつたら、ぽいを斜めに入れ、金魚の頭または側面からすくう。
4. 金魚がすぐえたら、ぽいを斜めにして水を切りお椀の中に入れる。

育G STYLING

育G stylist G・ハヤシがアドバイス
「大人の浴衣選び」

今年こそは孫と浴衣で出かけよう！
という育Gに、間違っても旅館の
寝間着に見えない「浴衣選び」を。

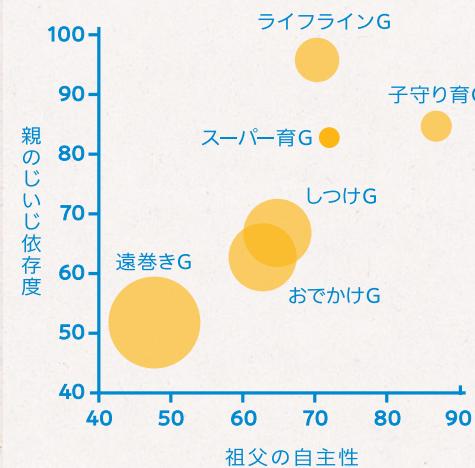
育G潮流

遠巻きGからの脱出

今どきの祖父と孫との関わり、消費実態を調査した『育G(イクジイ)調査』が発表になり、今どきのジイジの特徴が明らかになった。なかでも興味深いのが、6つに分類された今どきジイジのタイプ。

一番多かったのが、孫に会うのは楽しみだが、何かと受け身の「遠巻きG」(46.8%)。高度成長期を支えた企業戦士は、子育て経験が乏しいので、言われればやるが自分から行動を起こすことはあまりないようだ。しかし、孫の年齢が低い「遠巻きG」に関しては、孫の成長とともにやりたいこともあるようなので、いずれ子どもとの

今どき祖父の6タイプの図



スーパー育G → 孫育てを積極的に楽しみ、時間もお金もおしまない。

子守り育G → 日常的、自主的に孫の身の回りの世話をする。

ライフラインG → 娘世帯の日常的育児の一部を担い、経済サポートも行う。

しつけG → 勉強やしつけに熱心。昔ながらのG？

おでかけG → 孫との外食、レジャー、旅行を満喫。費用はジイジが負担。

遠巻きG → 孫と会うのは楽しみだが、何かと受け身のG。

外出を楽しむ「おでかけG」や自分の知識や知恵を伝授する「しつけG」になりうる要素を持っている。

世の中のジイジすべてが「スーパー育G」になることはないかもしれないが、「おで

かけG」「しつけG」にステップアップすることで、日本の子育てはもっと楽しく、ハッピーになるだろう。もちろん、ジイジの生活もハッピーになること間違いないし。

参考文献：『育G(イクジイ)調査』(電通)



1. 素材は、綿紬（めんつむぎ）や綿縮（めんちぢみ）が、サラリと肌に貼りつかず、上質感があってオススメ。

2. 地色は真っ白ではなく、少し色があるものに。

3. 色数を押さえて涼しげに見せましょう。
下駄に慣れない孫のために、スニーカーを持っていくのもどうぞお忘れなく！